

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

1. 名称 (他のプログラムと容易に区別できること)
武蔵野家庭医療プログラム

2. プログラム責任者			
氏名	福土元春	指導医認定番号	2004-037
所属・役職	武蔵国分寺公園クリニック・副院長		
所在地・連絡先	住所 〒185-0023 東京都国分寺市西元町 2-16-34-127 電話 042-320-4970 FAX 042-320-4976		
連絡担当者氏名※・役職	名郷花丸・事務担当		
連絡先	電話 同上		FAX 同上

※プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合にのみ記載。プログラム認定において疑義が生じたとき、学会側から担当者が責任者に連絡することがある。

3. 専攻医定員
1年あたり (2) 名 (専門研修指導医数 × 研修期間年数 ÷ 2 = 総定員 (8) 名

4. プログラムの構成
A. プログラムの種別と期間 該当するものは■に替える。 <ul style="list-style-type: none"> ■単独プログラム：総合診療専門医取得後に家庭医療専門研修プログラムに登録する場合 ■連動プログラム：総合診療専門研修プログラムに家庭医療専門研修プログラムを組み込む場合 <small>※単独プログラムと連動プログラムは、同一施設で本様式内に両者を記載することで、同時申請可能。 ※単独プログラムは研修プログラム、研修管理、研修施設を6～8、連動プログラムはそれぞれ9～11に記載。</small>
B. 専門研修の構成 (月単位の換算による) 該当するプログラムの口を■に変更した上で、必要に応じて () 内の数字を記入すること。 <ul style="list-style-type: none"> ■単独プログラム： <ul style="list-style-type: none"> 家庭医療専門研修Ⅰ (診療所・中小病院) (18) カ月 (18 カ月以上、12 カ月以上は同一施設で連続して研修) 家庭医療専門研修Ⅱ (病院総合診療部門) (6) カ月 (6 カ月以上) ■連動プログラム： <ul style="list-style-type: none"> 総合診療専門研修プログラムと同時研修で、 <ul style="list-style-type: none"> 家庭医療専門研修Ⅰ (18) カ月、 家庭医療専門研修Ⅱ (6) カ月 家庭医療専門研修プログラムの追加分において、家庭医療専門研修Ⅰ (18) カ月

5. 概要
A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長 東京西部の住宅地が密集する武蔵野地域を中心とした、都市部における医療施設で研修プログラムを展開する。拠点となる武蔵国分寺公園クリニックは2011年6月に開院した都市型家庭医療クリニックで、乳幼児から超高齢者まで幅広い年齢層に対する外来診療と近隣市域までカバーする広範囲の在宅医療を提供する。幅広い健康問題に対応する豊富な症例が経験でき、総合診療研修に適した研修環境である。
B. プログラムの理念 人は病気になることを避けられない、死ぬことを避けられないという現実を基盤にすえ、あらゆる問題に対応できる臨床医の育成が、本プログラムの基本理念である。その理念は、以下のように、0の軸、1の軸、3の軸、5の軸で多面的に定義づけている。 0の軸：万物は流転する (人は生まれ、生き、病気になり、死ぬ)

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

<p>1の軸：あらゆる問題に対応する</p> <p>3の軸： 多様な視点を持つ 境界を設けない 患者のナラティブを重視する</p> <p>5の軸： 患者によって自分を変える 患者や問題の種類により差別をしない 生物学的問題だけでなく心理社会的問題も重視する、 臓器、ヒトにとどまらず、家庭、地域をも視点とする 診察室に来ない人のことも考慮する</p>
<p>C. 全体的な研修目標</p> <p>0の軸、1の軸、3の軸、5の軸の基本理念を理解・実践し、あらゆる問題に対応できる臨床医となることを目指す。</p>
<p>D. 各ローテーション先で学べる内容や特色</p> <p>複数の家庭医がグループ診療を行うクリニックでの総合診療専門研修を柱としたプログラムである。クリニックでは年齢や健康問題にこだわらない外来診療と24時間対応の在宅医療が研修の柱となる。さらに、総合診療体制の整った病院研修を組み合わせて、質の高い総合診療専門研修プログラムを構築している。</p> <p>内科、小児科、救急科研修では東京都立多摩総合医療センター、小児総合医療センターなど近隣の後方病院と連携して実施するほか、新城市民病院（地域医療）、など、地域医療現場へ出向いての選択研修も可能である。</p> <p>本プログラムでは、EBM、行動科学、患者中心の医療の方法を使いこなし、幅広い健康問題が取り扱える医師を育成する。特にEBMの実践においては、今後のEBM実践のリーダーとなる人材を育成する。臨床につながる研究・教育についても重視し、電子カルテを利用した臨床研究への参加、臨床研究のe-Learningコースの受講、医学教育に関する臨床研究、初期研修医教育についても研修可能である。</p>
<p>E. 指導体制に関する特長</p> <p>クリニックでは豊富な家庭医養成経験のある院長、プログラム責任者のほかに、家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定医が常勤医師として在籍し、診療から教育・研究へ一貫した研修環境が整備されている。</p> <p>またクリニック単独の研修だけではなく、連携した研修医療期間での多彩な医療環境において、現場の優秀な指導医が熱心に指導している。</p> <p>研修期間全体のマネージメントはクリニックで統括し、研修状況や研修医の要望によって弾力的にプログラムの見直しをはかっている。</p>
<p>F. 医療専門職、保健・福祉専門職の協力を得る方法</p> <p>日常診療、とくに訪問診療において、医療・保健・福祉関係職種との連携場面が頻繁にある。ひとつの事例ごとに、コミュニケーションをとりながら、信頼関係を構築していくことが研修の主眼である。</p>
<p>G. 地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法</p> <p>地域の住民やクリニック利用者については、研修の取り組みについて院内に掲示するなどの情報開示を行うこと、外来診療では事前案内の際に配慮すること、訪問診療では事前に説明して了解を得ておくこと、などを常時行う。</p> <p>地域行事などを通じて住民との繋がりを持ちながら、地域社会や住民の理解を深める機会をもつ。</p>
<p>H. その他</p> <p>他の診療科からの転向者や診療所開設希望者へ向けた準備研修プログラムも運営しており、いろいろな経験をもつ医師が共に学び合う環境づくりが形成されている。</p>

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

6. 単独プログラム：研修プログラム
A. 経験目標（臨床） 別紙（エクセルの様式）に記載。
B. 経験目標（研究） 次のいずれかの実績を条件とする。基準を満たす場合、□を■に変更する。 1. 論文：関連領域の学術雑誌に筆頭著者として論文掲載。原著論文、症例報告、総説論文など。商業誌でも可 2. 書籍：関連領域の書籍の執筆。部分的な執筆でも可とするが、筆頭であること 3. 学会発表：関連領域で3回以上。学術的な集会で抄録が確認できるもの。院内発表会等は除く ■上記が実施できるような指導体制、準備期間、支援が準備できる。
C. 学習環境 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■UpToDate®、Dynamed®、各種診療ガイドラインなどの情報源の利用：週1回以上
D. 臨床現場での学習機会 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■指導医とのビデオレビュー（各専攻医あたり）：6カ月に1回以上 ■診断・治療をテーマにした家庭医療専門研修Ⅰの症例カンファレンス：月2回以上 ■診断・治療をテーマにした家庭医療専門研修Ⅱの症例カンファレンス：週1回以上 ■困難事例のマネジメントをテーマにしたカンファレンス：月1回以上 ■指導医と専攻医が行う振り返り：月1回以上
E. Off-the-job training 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。必須単位：臨床36単位（ウィメンズヘルス3単位※、災害医療3単位を含む）、教育6単位、研究6単位、マネジメント6単位（※ウィメンズヘルスは、産婦人科のブロック研修ないしは定期的な外来研修を行う場合は免除） ■上記に確実に参加できるよう支援できる。
F. 地域の医師会や行政と連携した地域保健活動 日本医師会かかりつけ医機能研修制度実地研修に定める以下の項目のうち、5つ以上実践する。 実践を予定する項目について□を■に変更する。 ■1. 学校医・園医、警察業務への協力医 □2. 健康スポーツ医活動 □3. 感染症定点観測への協力 ■4. 健康相談、保健指導、行政（保健所）と契約して行っている検診・定期予防接種の実施 ■5. 早朝・休日・夜間・救急診療の実施・協力 ■6. 産業医・地域産業保健センター活動の実施 ■7. 訪問診療の実施 ■8. 家族等のレスパイトケアの実施 ■9. 主治医意見書の記載 □10. 介護認定審査会への参加 ■11. 退院カンファレンスへの参加 ■12. 地域ケア会議等※への参加（※会議の名称は地域により異なる） ■13. 医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員 ■14. 看護学校等での講義・講演 ■15. 市民を対象とした講座等での講演 ■16. 地域行事（健康展、祭りなど）への医師としての出務
G. 家庭医療専門研修Ⅰ・Ⅱ研修期間中の形成評価（記録は保管すること） 各専攻医当たりの回数に関して以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■研修手帳の記録の確認と共同振り返り：月1回以上 ■360度評価：6カ月に1回以上 ■Case-based discussion (CbD)：3カ月に1回以上 ■Mini-CEX（ビデオレビュー時でも可）：6カ月に1回以上

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

7. 単独プログラム：研修管理

A. 研修管理委員会：構成メンバー

氏名	所属	役職	職種
福士 元春	武蔵国分寺公園クリニック	院長	医師
綿貫 聡	東京都立多摩総合医療センター	医長	医師
芝 祐信	東京都立多摩総合医療センター	部長	医師
岡田 悟	東京都立多摩総合医療センター	医長	医師
専攻医代表			

※1 行が足りないときは、随時増やすこと。

※2 医師以外の職種、専攻医代表（専攻医在籍時）、専門研修に関わる各施設指導医を、最低各1名はメンバーに加える。

B. 施設群の構成

(1) 基幹施設

名称	研修担当分野※1	プログラム責任者名	指導医数	他に連携するプログラムの名称
武蔵国分寺公園クリニック	①	福士元春	2	

(2) 連携施設※2

名称	研修担当分野※1	施設代表者名	指導医数	他に連携するプログラムの名称
東京都立多摩総合センター	②	綿貫 聡	2	2
東京北医療センター	②	岡田 悟	12	

※1 ①家庭医療専門研修Ⅰ、②家庭医療専門研修Ⅱ、③管理業務のみ（基幹施設のみ該当）の形で番号を記入。

※2 専門研修連携施設については、行が足りないときは随時増やすこと。

(3) 基幹施設・連携施設での研修期間（連携施設での研修期間の方が長い場合、理由を記す）

基幹施設 (18) カ月	連携施設での研修期間の方が長い理由：
連携施設 (6) カ月	

C. 研修資源の予算

■研修施設として、教育に割り当てる資源に対する責務と権限に関する明確な方針が存在している。

D. プログラム責任者履歴

記入日	2019年10月24日
氏名	福士 元春
卒後年数	1996年
主な職歴	1996年 青森県立中央病院（初期研修） 1998-2005年 青森県内のへき地医療に従事 2002-03年 自治医科大学地域医療学、揖斐郡北西部地域医療センター（後期研修） 2005-10年 地域医療振興協会 地域医療研修センター 2010年- 医療法人社団 実幸会 2011年 武蔵国分寺公園クリニック
専門医・指導医資格	日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
主な教育歴	・地域医療振興協会 家庭医療シニアプログラム「地域医療のススメ」作成・運営（指導医） ・公立長生病院×地域医療振興協会 家庭医療シニアプログラム 作成・運営（プログラム責任者）：家庭医療専門医1名育成 ・旧日本プライマリ・ケア学会 Bコース研修：家庭医療専門医1名合格 ・武蔵野家庭医療プログラム 作成・運営（プログラム責任者）：家庭医療専門医1名育成 ・武蔵野総合診療プログラム 作成・運営（プログラム責任者） ・外部講師：諏訪中央病院、青森県立中央病院など ・厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」にのっとる指導医講習会 タスクフォースとして企画参加 35回

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

必要な講習会受講歴	第2回地域指向型研修指導医講習会（2005/2/11-13 横須賀）
その他	

※プログラム副責任者がいる場合は、以下のスペースに欄をコピーして履歴を示すこと。

E. 指導医の立場
 ■指導医は、認定基準を満たす指導ができるだけの業務時間と権限を割り当てられている。

F. 専攻医の立場
 ■専攻医の身分や給与などの処遇は、研修期間を通して適切に担保され、関係者に周知されている。
 ■専攻医は、医療チームの一員として、他に働いている医師と同様の診療業務（休日や夜間の時間帯を含む）に携わる。

G. メンター制度
 ■専攻医の研修上の問題解決やキャリア形成の支援をするためのメンター制度を導入している。

H. 総括評価
 ■下記が実施できるような評価体制が準備できる。
 1. 家庭医療専門研修Ⅰ・Ⅱの修了時に、研修手帳に記載された自己評価の確認と到達度評価を指導医が実施する。
 2. 研修期間を満了し、かつ家庭医療専門研修Ⅰを18カ月以上、家庭医療専門研修Ⅱを6カ月以上修了している。指導医から修了に足る評価が得られたことをプログラム責任者が確認する。
 3. 専攻医自身が作成したポートフォリオにおいて全領域で基準に到達していることをプログラム責任者が確認する。
 4. 経験目標は研修プログラムに定められた基準に到達していることをプログラム責任者が確認する。
 5. 360度評価、CbD、Mini-CEXの結果は、各施設で定めた基準に達していることをプログラム責任者が確認する。

I. 研修修了認定の方法
修了判定会議のメンバーは、研修管理委員会と同一（専攻医代表のみ退席）
 ■その他（ 修了評価委員会による評価 ）

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

8. 単独プログラム：研修施設					
8-1. 家庭医療専門研修 I					
研修施設名 1	武蔵国分寺公園クリニック	診療科名 (内科・小児科)			
施設種別	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 中規模病院 (※下に中規模病院で本研修を行う必要性を記すこと) <input type="checkbox"/> 200 床以下の小病院 ()				
家庭医療専門研修 I における研修期間		(18) カ月			
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		12 ヶ月の継続研修と 6 ヶ月の継続研修が分割されることがある。		
※同一施設で 12 カ月以上の継続研修が含まれなければならない。「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい。					
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請※				
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。					
指導医氏名 1	富士 元春	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(2004-037)	
指導医氏名 2	五十嵐 博	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(2013-183)	
指導医氏名 3		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	()	
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))					
施設要件					
各専攻医当たりの経験症例数として、					
■外来のべ患者数：概ね 30 人/週以上である。					
■後期高齢者：経験症例数全体の 10% 以上である。					
■学童期以下の小児：経験症例数全体の 5% 以上である。					
※満たさない場合、以下のいずれかが必要。					
<input type="checkbox"/> 院内小児科で経験症例を補完する※					
<input type="checkbox"/> 同一地域の院外小児科診療所、病院小児科等で経験症例を補完する※：施設名 ()					
<input type="checkbox"/> 医療資源の乏しい地域に位置し、上記の要件を満たさないが、当該年齢層の患者を断らずに診療する。年間患者数実績 () 人、当該年齢層の患者数 () 人					
<input type="checkbox"/> 当該年齢層の患者の診療は経験できないが、当施設での研修は 6 ヶ月以内であり、プログラム内の他の認定施設 (小児の経験症例数の条件を満たす) で 12 カ月以上連続した家庭医療専門研修 I を行う (経過措置)。					
※「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
■精神医学・心身医学領域の疾患：概ね 2 人/週以上である。					
■訪問診療患者数概ね 5 人/週以上、終末期医療概ね 1 人/6 カ月以上であり、緊急往診に対応可能である。					
※満たさない場合、以下のいずれかが必要。上の条件の場合「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
<input type="checkbox"/> 同一地域で訪問診療を提供している他の医療機関で補完する※：施設名 ()					
<input type="checkbox"/> 訪問診療は経験できないが、当施設での研修は 6 ヶ月以内であり、プログラム内の他の認定施設 (訪問診療患者数の条件を満たす) で 12 カ月以上連続した家庭医療専門研修 I を行う (経過措置)。					
※「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
体制やコンセプト					
■アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略 (夜 10 時までの外来診療と 24 時間体制での在宅医療の提供)					
■継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 (継続的な外来診療と訪問診療の研修)					
■包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 (基本的に外来診療、訪問診療にて実践しており研修可能)					
■多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 (外来診療における紹介や訪問診療における多職種カンファレンスなど、多くの連携の場面があり研修可能)					
■家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な状況 (家族受診が多く通常の外来診療にて研修可能)					
■地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な内容と方法 (住民対象のワークショップや講演会などの機会がある)					
週当たり研修日数：(5) 日/週					
※本研修 (家庭医療専門研修 I) は週に 4 日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大 5.5 日に留めること。					
家庭医療専門研修 I (本研修) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数 (週 1 日まで) ※カンファレンス等学習機会はここに記載しない。					
内容					
日数		日/週			

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

8-2. 家庭医療専門研修Ⅱ					
研修施設名 1	東京都立多摩総合医療センター	診療科名 (救急総合診療センター・総合内科)	
施設情報	病院病床数 (789) 床	診療科病床数 (18) 床	
家庭医療専門研修Ⅱにおける研修期間		(6) カ月			
常勤の認定指導医の配置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請※			
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。					
指導医氏名 1	綿貫 聡	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(2014-0592)	
指導医氏名 2	芝 祐信	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(98-101)	
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (<input checked="" type="checkbox"/> のように))					
施設要件					
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している					
各専攻医当たりの経験症例数					
<input checked="" type="checkbox"/> 退院サマリー作成数：概ね 8 人／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、救急外来や一般外来からの緊急 (即日) 入院：概ね 4 人／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 退院前カンファレンス参加件数：概ね 1 件／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 外来患者数：概ね 15 人／週以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、新患・定期外の急性の問題：概ね 5 人／週以上 <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来患者数：概ね 3 人／週以上					
病棟診療					
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 (特に虚弱) ケア 具体的な体制と方略 (虚弱高齢者への入院対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 (複数の健康問題を抱える患者への入院対応, 外来診療を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 (院内各診療科との連携を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 (ソーシャルワーカー、退院支援部門などと連携し、家族カンファレンスを必要時に行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 (緩和ケアチームとの連携にて行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 (退院支援部門, 地域連携室との連携で行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制 (地域医療機関からの在宅患者受け入れを行う)					
外来診療					
<input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 (ER 型救急外来 (25000 人/年), 総合内科外来 (3000 人/年) にて初期診療を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 (臓器特異性のない総合内科外来患者において主訴ベースの対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 (臓器特異性のない救急・内科外来患者への対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 (週 1 回行われる臨床推論を中心とした ER ランチョンレポートへの参加, ジャーナルクラブへの参加を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 (複数の健康問題を抱える後期高齢者への対応で習得可能である)					
<input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略 (高次医療機関へ紹介されてくる, 臓器特異性のない総合内科外来患者において主訴ベースの対応を行う)					

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

週当たり研修日数：() 日/週 ※本研修（家庭医療専門研修Ⅱ）は週に4日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大5.5日に留めること。	
家庭医療専門研修Ⅱ（本研修）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数（週1日まで）※並行して行う研修は内科、小児科は除く。カンファレンス等学習機会はここに記載しない。	
内容	
日数	日/週

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

8-2. 家庭医療専門研修Ⅱ				
研修施設名 1	東京北医療センター	診療科名 (総合診療科)		
施設情報	病院病床数 (280) 床	診療科病床数 (50) 床		
家庭医療専門研修Ⅱにおける研修期間		(6) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請※			
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。				
指導医氏名 1	宮崎 勝	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(2014-0592)
指導医氏名 2		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	()
要件（各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））				
施設要件 <input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している				
各専攻医当たりの経験症例数 <input checked="" type="checkbox"/> 退院サマリー作成数：概ね8人/月以上 ■うち、救急外来や一般外来からの緊急（即日）入院：概ね4人/月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 退院前カンファレンス参加件数：概ね1件/月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 外来患者数：概ね15人/週以上 ■うち、新患・定期外の急性の問題：概ね5人/週以上 <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来患者数：概ね3人/週以上				
病棟診療 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者（特に虚弱）ケア 具体的な体制と方略（東京23区内最高高齢化率を誇る北区での、地域包括ケアを提供するための病院における高齢者診療を行なっている） <input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略（高齢者が多いため、複合的な問題を扱う機会が多い） <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略（院内各専門医とのシームレスな連携が取れているので、適宜コンサルテーションを行う） <input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略（入院中の患者の心理状況に配慮し、退院後の生活に不都合がないように社会的要因の評価とそれに対する対応を行う。また倫理的な問題については、院内の医療倫理委員会に諮ることもできる） <input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略（緩和ケア専門医との連携で緩和ケアをマネジメントしている） <input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略（院内にいる社会福祉士や院外の福祉関係者と密に連絡を取り対応している） <input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制（病診連携を密に取り、入院が必要な場合は積極的に受け入れている）				
外来診療 <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（24時間対応の2次救急の提供と、当院での内科初診外来を全て当科で担当している） <input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（内科外来を標榜しているが、現実的には内科以外の問題にも対応している） <input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（赤羽地区の疾病構造を反映し、よくある症候と疾患を十分に経験可能である） <input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（臨床推論・EBMに精通した指導医と常にディスカッションを行う） <input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（高齢者が多いため、複合的な問題を扱う機会が多い） <input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（定期的なカンファレンスを行なって多角的に評価する他、専門医へのコンサルテーションを行っている）				

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

週当たり研修日数：(5.5) 日/週 ※本研修(家庭医療専門研修Ⅱ)は週に4日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大5.5日に留めること。	
家庭医療専門研修Ⅱ(本研修)の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数(週1日まで) ※並行して行う研修は内科、小児科は除く。カンファレンス等学習機会はここに記載しない。	
内容	特になし
日数	0日/週

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

8-3. 領域別研修：その他※						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	研修日数/週 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
小児科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
救急	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
精神科/ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
産婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
放射線科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
臨床検査	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
その他 ()	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

9. 連動プログラム：研修プログラム
A. 経験目標（臨床） 別紙（エクセルの様式）に記載。
B. 経験目標（研究） 次のいずれかの実績を条件とする。基準を満たす場合、□を■に変更する。 1. 論文：関連領域の学術雑誌に筆頭著者として論文掲載。原著論文、症例報告、総説論文など。商業誌でも可 2. 書籍：関連領域の書籍の執筆。部分的な執筆でも可とするが、筆頭であること 3. 学会発表：関連領域で3回以上。学術的な集会で抄録が確認できるもの。院内発表会等は除く ■上記が実施できるような指導体制、準備期間、支援が準備できる。
C. 学習環境 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■UpToDate®、Dynamed®、各種診療ガイドラインなどの情報源の利用：週1回以上
D. 臨床現場での学習機会 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■指導医とのビデオレビュー（各専攻医あたり）：6カ月に1回以上 ■診断・治療をテーマにした家庭医療専門研修Ⅰの症例カンファレンス：月2回以上 ■診断・治療をテーマにした家庭医療専門研修Ⅱの症例カンファレンス：週1回以上 ■困難事例のマネジメントをテーマにしたカンファレンス：月1回以上 ■指導医と専攻医が行う振り返り：月1回以上
E. Off-the-job training 以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。必須単位：臨床36単位（ウィメンズヘルス3単位*、災害医療3単位を含む）、教育6単位、研究6単位、マネジメント6単位（※ウィメンズヘルスは、産婦人科のブロック研修ないしは定期的な外来研修を行う場合は免除） ■上記に確実に参加できるよう支援できる。
F. 地域の医師会や行政と連携した地域保健活動 日本医師会かかりつけ医機能研修制度実地研修に定める以下の項目のうち、5つ以上実践する。 実践を予定する項目について□を■に変更する。 ■1. 学校医・園医、警察業務への協力医 □2. 健康スポーツ医活動 □3. 感染症定点観測への協力 ■4. 健康相談、保健指導、行政（保健所）と契約して行っている検診・定期予防接種の実施 ■5. 早朝・休日・夜間・救急診療の実施・協力 ■6. 産業医・地域産業保健センター活動の実施 ■7. 訪問診療の実施 ■8. 家族等のレスパイトケアの実施 ■9. 主治医意見書の記載 □10. 介護認定審査会への参加 ■11. 退院カンファレンスへの参加 ■12. 地域ケア会議等※への参加（※会議の名称は地域により異なる） ■13. 医師会、専門医会、自治会、保健所関連の各種委員 ■14. 看護学校等での講義・講演 ■15. 市民を対象とした講座等での講演 ■16. 地域行事（健康展、祭りなど）への医師としての出務
G. 家庭医療専門研修Ⅰ・Ⅱ研修期間中の形成評価（記録は保管すること） 各専攻医当たりの回数に関して以下の基準を満たす場合、□を■に変更する。 ■研修手帳の記録の確認と共同振り返り：月1回以上 ■360度評価：6カ月に1回以上 ■Case-based discussion (CbD)：3カ月に1回以上 ■Mini-CEX（ビデオレビュー時でも可）：6カ月に1回以上

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

10. 連動プログラム：研修管理

A. 研修管理委員会：構成メンバー

氏名	所属	役職	職種
福士 元春	武蔵国分寺公園クリニック	院長	医師
綿貫 聡	東京都立多摩総合医療センター	医長	医師
芝 祐信	東京都立多摩総合医療センター	部長	医師
岡田 悟	東京都立多摩総合医療センター	医長	医師
専攻医代表			

※1 行が足りないときは、随時増やすこと。

※2 医師以外の職種、専攻医代表（専攻医在籍時）、専門研修に関わる各施設指導医を、最低各1名はメンバーに加える。

B. 施設群の構成

(1) 基幹施設

名称	研修担当分野※1	プログラム責任者名	指導医数	他に連携するプログラムの名称
武蔵国分寺公園クリニック	②	福士元春	2	

(2) 連携施設※2

名称	研修担当分野※1	施設代表者名	指導医数	他に連携するプログラムの名称
東京都立多摩総合センター	②	綿貫 聡	2	
東京北医療センター	②	岡田 悟	1	

※1 ①家庭医療専門研修Ⅰ、②家庭医療専門研修Ⅱ、③管理業務のみ（基幹施設のみ該当）の形で番号を記入。

※2 専門研修連携施設については、行が足りないときは随時増やすこと。

(3) 基幹施設・連携施設での研修期間（連携施設での研修期間の方が長い場合、理由を記す）

基幹施設 (18) カ月	連携施設での研修期間の方が長い理由：
連携施設 (6) カ月	

C. 研修資源の予算

■研修施設として、教育に割り当てる資源に対する責務と権限に関する明確な方針が存在している。

D. プログラム責任者履歴

記入日	2019年10月24日
氏名	福士 元春
卒後年数	1996年
主な職歴	1996年 青森県立中央病院（初期研修） 1998-2005年 青森県内のへき地医療に従事 2002-03年 自治医科大学地域医療学、揖斐郡北西部地域医療センター（後期研修） 2005-10年 地域医療振興協会 地域医療研修センター 2010年- 医療法人社団 実幸会 2011年 武蔵国分寺公園クリニック
専門医・指導医資格	日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
主な教育歴	・地域医療振興協会 家庭医療シニアプログラム「地域医療のススメ」作成・運営（指導医） ・公立長生病院×地域医療振興協会 家庭医療シニアプログラム 作成・運営（プログラム責任者）：家庭医療専門医1名育成 ・旧日本プライマリ・ケア学会 Bコース研修：家庭医療専門医1名合格 ・武蔵野家庭医療プログラム 作成・運営（プログラム責任者）：家庭医療専門医1名育成 ・武蔵野総合診療プログラム 作成・運営（プログラム責任者） ・外部講師：諏訪中央病院、青森県立中央病院など ・厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」にのっとる指導医講習会 タスクフォースとして企画参加 35回

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

必要な講習会受講歴	第2回地域指向型研修指導医講習会 (2005/2/11-13 横須賀)
その他	

※プログラム副責任者がいる場合は、以下のスペースに欄をコピーして履歴を示すこと。

E. 指導医の立場
 ■指導医は、認定基準を満たす指導ができるだけの業務時間と権限を割り当てられている。

F. 専攻医の立場
 ■専攻医の身分や給与などの処遇は、研修期間を通して適切に担保され、関係者に周知されている。
 ■専攻医は、医療チームの一員として、他に働いている医師と同様の診療業務（休日や夜間の時間帯を含む）に携わる。

G. メンター制度
 ■専攻医の研修上の問題解決やキャリア形成の支援をするためのメンター制度を導入している。

H. 総括評価
 ■下記が実施できるような評価体制が準備できる。
 1. 家庭医療専門研修Ⅰ・Ⅱの修了時に、研修手帳に記載された自己評価の確認と到達度評価を指導医が実施する。
 2. 研修期間を満了し、かつ家庭医療専門研修Ⅰを18カ月以上、家庭医療専門研修Ⅱを6カ月以上修了している。
 指導医から修了に足る評価が得られたことをプログラム責任者が確認する。
 3. 専攻医自身が作成したポートフォリオにおいて全領域で基準に到達していることをプログラム責任者が確認する。
 4. 経験目標は研修プログラムに定められた基準に到達していることをプログラム責任者が確認する。
 5. 360度評価、CbD、Mini-CEXの結果は、各施設で定めた基準に達していることをプログラム責任者が確認する。

I. 研修修了認定の方法
 修了判定会議のメンバーは、研修管理委員会と同一（専攻医代表のみ退席）
 ■その他（ 修了評価委員会による評価 ）

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

1 1. 連動プログラム：研修施設					
1 1-1. 家庭医療専門研修 I					
研修施設名 1	武蔵国分寺公園クリニック	診療科名 (内科・小児科)			
施設種別	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 200 床以下の小病院	<input type="checkbox"/> 中規模病院 (※下に中規模病院で本研修を行う必要性を記すこと) ()			
家庭医療専門研修 I における研修期間		(18) カ月			
研修期間の分割	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		12 ヶ月の継続研修と 6 ヶ月の継続研修が分割されることがある。		
※同一施設で 12 カ月以上の継続研修が含まれなければならない。「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい。					
常勤の認定指導医の配置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請※			
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。					
指導医氏名 1	福土元春	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医氏名 1	福土元春	
指導医氏名 2	五十嵐博	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医氏名 2	五十嵐博	
指導医氏名 3		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医氏名 3		
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))					
施設要件					
各専攻医当たりの経験症例数として、					
<input checked="" type="checkbox"/> 外来のべ患者数：概ね 30 人/週以上である。					
<input checked="" type="checkbox"/> 後期高齢者：経験症例数全体の 10% 以上である。					
<input checked="" type="checkbox"/> 学童期以下の小児：経験症例数全体の 5% 以上である。 ※満たさない場合、以下のいずれかが必要。					
<input type="checkbox"/> 院内小児科で経験症例を補完する※					
<input type="checkbox"/> 同一地域の院外小児科診療所、病院小児科等で経験症例を補完する※：施設名 ()					
<input type="checkbox"/> 医療資源の乏しい地域に位置し、上記の要件を満たさないが、当該年齢層の患者を断らずに診療する。年間患者数実績 () 人、当該年齢層の患者数 () 人					
<input type="checkbox"/> 当該年齢層の患者の診療は経験できないが、当施設での研修は 6 ヶ月以内であり、プログラム内の他の認定施設 (小児の経験症例数の条件を満たす) で 12 カ月以上連続した家庭医療専門研修 I を行う (経過措置)。 ※「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
<input checked="" type="checkbox"/> 精神医学・心身医学領域の疾患：概ね 2 人/週以上である。					
<input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療患者数概ね 5 人/週以上、終末期医療概ね 1 人/6 カ月以上であり、緊急往診に対応可能である。 ※満たさない場合、以下のいずれかが必要。上の条件の場合「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
<input type="checkbox"/> 同一地域で訪問診療を提供している他の医療機関で補完する※：施設名 ()					
<input type="checkbox"/> 訪問診療は経験できないが、当施設での研修は 6 ヶ月以内であり、プログラム内の他の認定施設 (訪問診療患者数の条件を満たす) で 12 カ月以上連続した家庭医療専門研修 I を行う (経過措置)。 ※「研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修」に追記すること。					
体制やコンセプト					
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略 (夜 10 時までの外来診療と 24 時間体制での在宅医療の提供)					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 (継続的な外来診療と訪問診療の研修)					
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 (基本的に外来診療、訪問診療にて実践しており研修可能)					
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 (外来診療における紹介や訪問診療における多職種カンファレンスなど、多くの連携の場面があり研修可能)					
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な状況 (家族受診が多く通常の外来診療にて研修可能)					
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な内容と方法 (住民対象のワークショップや講演会などの機会がある)					
週当たり研修日数：(5) 日/週 ※本研修 (家庭医療専門研修 I) は週に 4 日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大 5.5 日に留めること。					
家庭医療専門研修 I (本研修) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数 (週 1 日まで) ※カンファレンス等学習機会はここに記載しない。					
内容					
日数 日/週					

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー＆ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

11-2. 家庭医療専門研修Ⅱ					
研修施設名1	東京都立多摩総合医療センター	診療科名 (救急総合診療センター・総合内科)			
施設情報	病院病床数 (789) 床	診療科病床数 (18) 床			
家庭医療専門研修Ⅱにおける研修期間		(6) カ月			
常勤の認定指導医の配置の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請※			
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。					
指導医氏名1	綿貫 聡	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤		指導医認定番号	(2014-0592)
指導医氏名2	芝 祐信	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤		指導医認定番号	(98-101)
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))					
施設要件					
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している					
各専攻医当たりの経験症例数					
<input checked="" type="checkbox"/> 退院サマリー作成数：概ね 8 人／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、救急外来や一般外来からの緊急 (即日) 入院：概ね 4 人／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 退院前カンファレンス参加件数：概ね 1 件／月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 外来患者数：概ね 15 人／週以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、新患・定期外の急性の問題：概ね 5 人／週以上 <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来患者数：概ね 3 人／週以上					
病棟診療					
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 (特に虚弱) ケア 具体的な体制と方略 (虚弱高齢者への入院対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 (複数の健康問題を抱える患者への入院対応, 外来診療を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 (院内各診療科との連携を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 (ソーシャルワーカー、退院支援部門などと連携し、家族カンファレンスを必要時に行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 (緩和ケアチームとの連携にて行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 (退院支援部門, 地域連携室との連携で行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制 (地域医療機関からの在宅患者受け入れを行う)					
外来診療					
<input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 (ER 型救急外来 (25000 人/年), 総合内科外来 (3000 人/年) にて初期診療を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 (臓器特異性のない総合内科外来患者において主訴ベースの対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略 (臓器特異性のない救急・内科外来患者への対応を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略 (週 1 回行われる臨床推論を中心とした ER ランチョンレポートへの参加, ジャーナルクラブへの参加を行う)					
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略 (複数の健康問題を抱える後期高齢者への対応で習得可能である)					
<input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略 (高次医療機関へ紹介されてくる, 臓器特異性のない総合内科外来患者において主訴ベースの対応を行う)					

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

週当たり研修日数：(5.5) 日/週	
※本研修(家庭医療専門研修Ⅱ)は週に4日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大5.5日に留めること。	
家庭医療専門研修Ⅱ(本研修)の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数(週1日まで) ※並行して行う研修は内科、小児科は除く。カンファレンス等学習機会はここに記載しない。	
内容	特になし
日数	0日/週

※研修施設が2箇所以上にあたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

11-2. 家庭医療専門研修Ⅱ				
研修施設名1	東京北医療センター	診療科名(総合診療科)		
施設情報	病院病床数(280)床	診療科病床数(50)床		
家庭医療専門研修Ⅱにおける研修期間		(6) カ月		
常勤の認定指導医の配置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 配置あり <input type="checkbox"/> 配置なし → 特例申請*			
※指導医の特例申請は、原則的に、へき地・離島と都道府県より法的に指定されている地区の施設においてのみ申請可能。				
指導医氏名1	宮崎 勝	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(2014-0592)
指導医氏名2		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	()
要件(各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす(<input checked="" type="checkbox"/> のように))				
施設要件				
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している				
各専攻医当たりの経験症例数				
<input checked="" type="checkbox"/> 退院サマリー作成数：概ね8人/月以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、救急外来や一般外来からの緊急(即日)入院：概ね4人/月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 退院前カンファレンス参加件数：概ね1件/月以上 <input checked="" type="checkbox"/> 外来患者数：概ね15人/週以上 <input checked="" type="checkbox"/> うち、新患・定期外の急性の問題：概ね5人/週以上 <input checked="" type="checkbox"/> 救急外来患者数：概ね3人/週以上				
病棟診療				
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(東京23区内最高高齢化率を誇る北区での、地域包括ケアを提供するための病院における高齢者診療を行なっている)				
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(高齢者が多いため、複合的な問題を扱う機会が多い)				
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(院内各専門医とのシームレスな連携が取れているので、適宜コンサルテーションを行う)				
<input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略(入院中の患者の心理状況に配慮し、退院後の生活に不都合がないように社会的要因の評価とそれに対する対応を行う。また倫理的な問題については、院内の医療倫理委員会に諮ることもできる)				
<input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略(緩和ケア専門医との連携で緩和ケアをマネジメントしている)				
<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略(院内にいる社会福祉士や院外の福祉関係者と密に連絡を取り対応している)				
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制(病診連携を密に取り、入院が必要な場合は積極的に受け入れている)				
外来診療				
<input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略(24時間対応の2次救急の提供と、当院での内科初診外来を全て当科で担当している)				
<input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略(内科外来を標榜しているが、現実的には内科以外の問題にも対応している)				
<input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略(赤羽地区の疾病構造を反映し、よくある症候と疾患を十分に経験可能である)				
<input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略(臨床推論・EBMに精通した指導医と常にディスカッションを行う)				
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略(高齢者が多いため、複合的な問題を扱う機会が多い)				
<input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略(定期的なカンファレンスを行なって多角的に評価する他、専門医へのコンサルテーションを				

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

行っている)	
週当たり研修日数：(5.5) 日/週	
※本研修（家庭医療専門研修Ⅱ）は週に4日以上行わなければならない。下記研修と合算し、業務は週最大5.5日に留めること。	
家庭医療専門研修Ⅱ（本研修）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる領域別研修の内容とその日数（週1日まで）※並行して行う研修は内科、小児科は除く。カンファレンス等学習機会はここに記載しない。	
内容	特になし
日数	0日/週

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載。その際、研修施設名「1」の番号を順に「2」、「3」と増やすこと。

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

11-3. 領域別研修：その他※						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	研修日数/週 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
小児科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
救急	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
精神科／ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
産婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
放射線科	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
臨床検査	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		
その他 ()	<input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	() 日/週	() カ月		

※家庭医療専門研修プログラム期間中に行うものだけ記載すればよ